

整理番号：1-1

提言題名：戸頭北保育所を廃止しないでほしい

【提言の内容】

先日、戸頭北保育所の廃止を検討するとの話を聞きました。人数が減っているわけでもなく、利用したい方がいるなかでの廃止は遺憾に感じます。実際に私の子どもも通っていて、下の子も入れようと考えているなかでの廃止案に驚きました。しかも決定的な感じだと感じました。市民の声に耳を傾けてから検討してほしいと思います。

(令和元年12月受付)

【回答】

「第四次取手市保育所整備計画」策定にあたりまして、1月中旬から約1ヶ月間を予定とし、市民の皆様のご意見を伺う「パブリックコメント」を予定しております。それに先立ち、戸頭北保育所ご利用の保護者の皆様に、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について検討していくことをご説明させていただきました。

4つの中学校区域（取手第一中学校区域、取手第二中学校区域、戸頭・永山中学校区域、藤代・藤代南中学校区域）ごとに公立保育所1か所配置の考え方にに基づき、施設の老朽化に伴う保育所の統廃合等、公立保育所の施設整備の方針と民営化について検討してまいりました。第四次取手市保育所整備計画を策定するにあたり、第三次取手市保育所整備計画でも課題でありました戸頭北保育所の老朽化対策について、保育行政推進検討委員会と児童福祉審議会に諮り、施設の整備方針を検討してまいりました。

戸頭北保育所がある戸頭・永山中学校区域には、7か所の教育・保育施設がありますが、近年の私立保育園と認定こども園の施設整備により保育定員数の拡充が図られました。戸頭北保育所の利用定員90人について、同区域内と隣接する区域の供給量により受入れの確保ができることと見込まれることから、市の財政状況を勘案すると改築ではなく、計画期間内に廃止を検討していくことといたしました。

また、取手市では平成27年度から待機児童が発生していますが、待機児童発生の主な要因としましては、公立保育所の保育士不足により定員まで入所させることができなかつたことがあげられます。廃止や民営化した公立保育所の保育士について、保育士が不足している他の公立保育所へ配置替えをすることで、待機児童の解消と、更なる手厚い保育の実施や保育士の負担軽減が期待できます。

これからも保護者の皆様には丁寧にご説明させていただきます。廃止となった場合は、在園児の移籍等に関しまして、できる限りの配慮をさせていただきたいと考えております。何卒、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

(子育て支援課 令和元年12月回答)